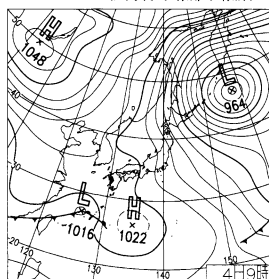


日々の天気図

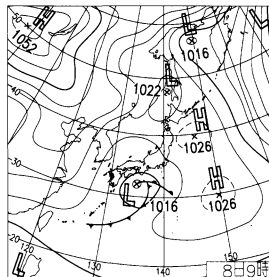
—No. 37

2005年2月

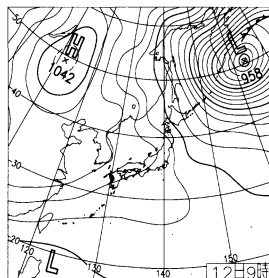
- 1日～5日、強い冬の気圧配置。
- 16日、本州南岸の低気圧により、仙台市は日降雪量22 cmの大雪。
- 23日、日本海低気圧、春一番。
- 25日～26日、冬の気圧配置で、長野県小谷村55 cm/24hの降雪。
(気象庁予報部予報課)



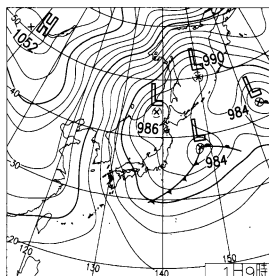
4日(金)北日本中心に強い冬型
北日本中心に強い冬型気圧配置となり、北海道では一時風雪強まる。北陸から北の日本海側は雨や雪。その他は晴れや曇り。低気圧の発生で、南西諸島・九州は所々雨。



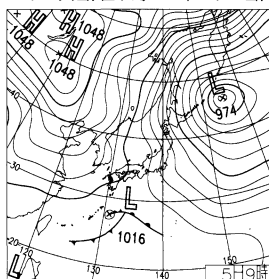
8日(火)南岸低気圧東進
日本の南岸を低気圧が東進し、四国～関東は雨。関東北部～東北南部は雪。気圧の谷が西日本に接近し、九州から曇り、午後には東日本も曇り。最低気温は北海道弟子屈町-27.0℃、沖縄県石垣市18.5℃。



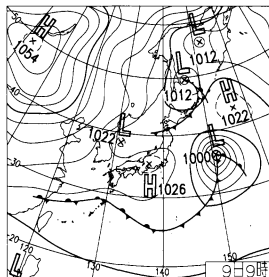
12日(土)列島の気温差45.5℃
冬の気圧配置が続き、日本海側は雪。気圧の谷が西日本に接近し、九州から曇り、午後には東日本も曇り。最低気温は北海道弟子屈町-27.0℃、沖縄県石垣市18.5℃。



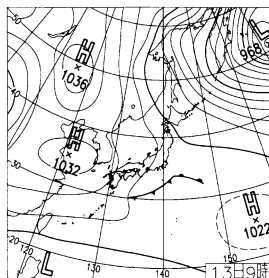
1日(火)種子島6年ぶりの雪
上空約5000 mに-40℃以下の寒気が入り、日本列島は寒波に見舞われ、西日本の太平洋側も風雪が強まり、高知市は降雪量6 cm/日で18年ぶりの大雪。種子島は6年ぶりの雪。



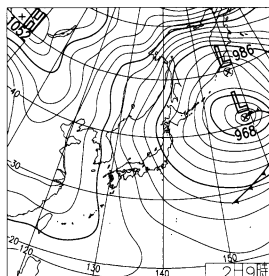
5日(土)北海道紋別市流水接岸
冬の気圧配置が続く。北陸から北の日本海側は雪。四国～東北の太平洋側は晴れ。その他は曇り。北海道紋別市で平年並の流水接岸。京都市、山口県下関市でウメ開花。



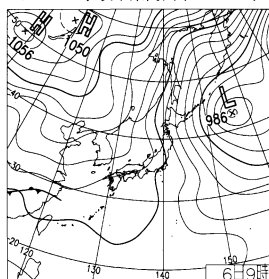
9日(水)那覇市初めての夏日
寒冷前線が北日本を通過。本州は高気圧に覆われる。北陸～北日本は雨や雪。南西諸島や九州は所々で雨。その他は晴れや曇り。那覇市の最高気温は25.3℃、今年初の夏日。



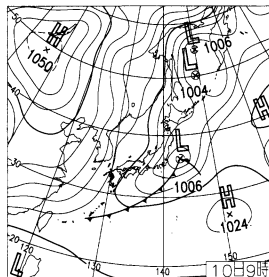
13日(日)合併で府県予報区変更
冬型気圧配置は北日本主体。北陸以北の日本海側は雨や雪。市町村合併で、長野県山口村が岐阜県中津川市に編入。越県合併は46年ぶり。



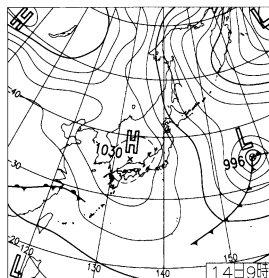
2日(水)寒波持続
寒気が引き続き流入。日本海側で大雪。太平洋側は北海道で曇りの他は晴れ。9時までの24時間降雪量は、山陰～北陸と中部地方の多い所で30～50 cm。岐阜県高山市で56 cm。



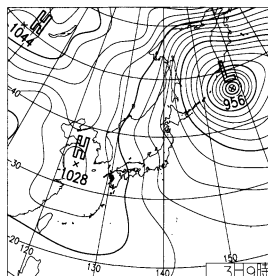
6日(日)北海道・沖縄は3月並
太平洋側は概ね晴れるが、九州は午後から曇り。北海道と沖縄の最高気温は平年より3～4℃高く3月並の暖かさ。石垣島は25.1℃の夏日。



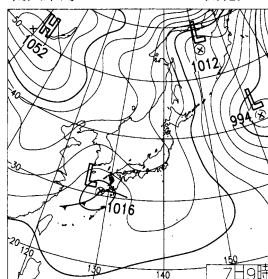
10日(木)房総半島5月並の気温
低気圧と前線の影響で、北陸から北では雪。山陰～近畿北部と関東南部で雨。その他は曇り。朝の気温は全国的に高く、3月下旬～4月上旬並。千葉県館山市は5月上旬並。



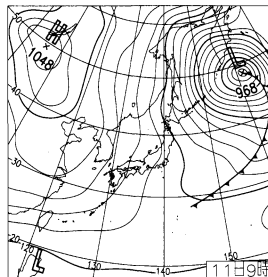
14日(月)根室市流水初日
北日本は冬型気圧配置で、西日本は高気圧に覆われる。北陸から北の日本海側は雪。その他は晴れや曇り。流水は知床半島を南下し、根室市でも見られ、初日となる。



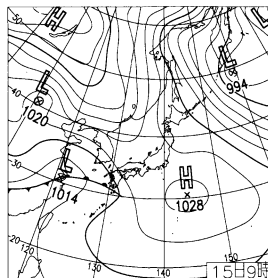
3日(木)西から冬型が緩む
上空の寒気は弱まり、冬型気圧配置は西から緩む。最高気温は全国的に平年より低いが、九州・南西諸島では晴れて前日より3～4℃暖かい。南大東島でヒカンザクラが開花。



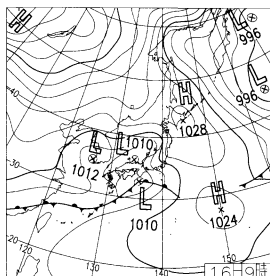
7日(月)札幌雪祭り開幕
東シオ海で低気圧が発生し、九州の南を東進。西日本は雨、東日本は晴れのち曇り。気温は北海道と沖縄で平年より高い。札幌は最高気温1.9℃。積雪98 cmの中、雪祭り開幕。



11日(金)熊本市ウグイス初鳴
冬型の気圧配置が強まり、山陰以北の日本海側は雪や雨。最高気温は全国的に平年より低く、関東は前日より6℃前後低い。熊本市で平年より17日早いウグイスの初鳴き。

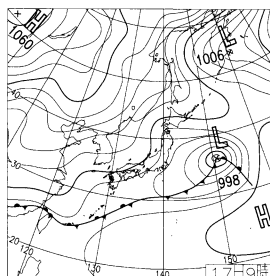


15日(火)九州南部局地的大雨
低気圧の影響で南西諸島～近畿は雨。北日本は寒気の影響で雪や雨。その他は曇りや晴れ。鹿児島県南種子島町で日雨量264 mm。2月の記録更新。名古屋市でヒバリ初鳴き。



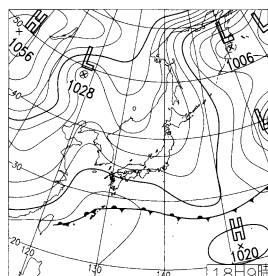
16日(水) 京都議定書発効

低気圧が日本海と本州南岸を東進。関東南部から西は雨、関東北部～東北は雪。仙台市は日降雪量22 cmの大雪、茨城県で震度5弱。地球温暖化防止に関する京都議定書発効。



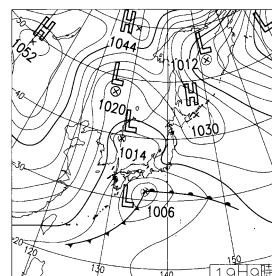
17日(木) 中部国際空港開港

日本付近は、大陸の高気圧が北に偏って張り出す。日本海側は所々で雨。沖縄や九州南部は前線の影響で雨。その他は概ね曇り。愛知県に中部国際空港が開港。



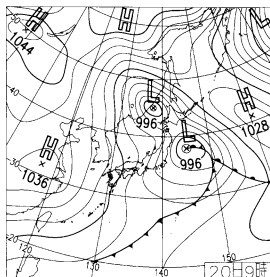
18日(金) 西日本から崩れる

高気圧が日本海に張り出す。九州の南に低気圧が発生し、発達しながら東北東進。西日本から雨となり、夜には関東まで広がる。関東では雪や雨。その他は曇りや晴れ。



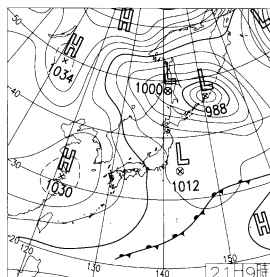
19日(土) 関東北部積雪

日本海と本州南岸を低気圧が発達しながら北東進。東北から西は雨、関東東部や甲信では雪。関東北部平野部では積雪、前橋市2 cm、鹿児島市で平年より早いツバメ初見。



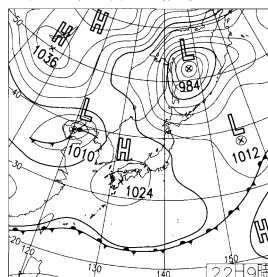
20日(日) 北日本降雪続く

低気圧や気圧の谷の影響で、北日本と北陸～山陰は雪。関東～東北南部・南西諸島は雨。東海以西の太平洋側は曇りのち晴れ。北海道釧路市の日降雪量18 cm。



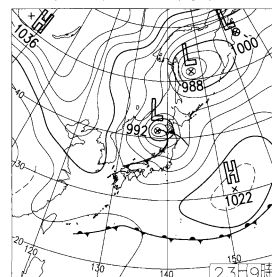
21日(月) 冬型気圧配置に戻る

日本付近は冬型気圧配置になる。日本海側は所々で雪。その他は概ね晴れ。北日本中心に寒気が入り、日中の気温は関東を除いてほぼ全国的に真冬並。



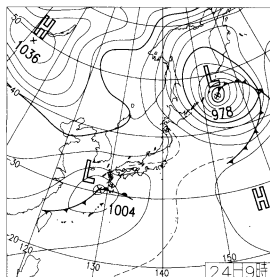
22日(火) 青森市積雪139 cm

寒気が流入し北日本は雪。東・西日本は高気圧に覆われ晴れ。南西諸島は前線の影響で曇りや雨。青森市の9時の積雪は平年より56 cm多い。



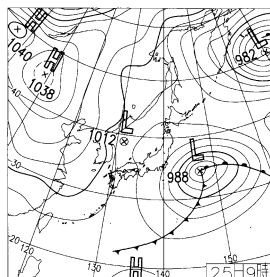
23日(水) 春一番と黄砂

低気圧が日本海を東北東進。低気圧に向かう南よりの強い風で、関東・北陸・近畿で「春一番」。関東は4月上旬～中旬並の暖かさ。横浜市と東海以西の各地で今年初の黄砂。



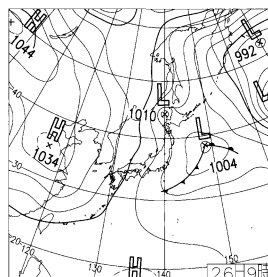
24日(木) 九州南部で激しい雨

東シナ海で低気圧が発生し、九州の南海上を東進。九州と南西諸島で雨が降り出し、夜には東日本に移る。北日本は雪。鹿児島県上屋久町で44 mm/hの激しい雨。



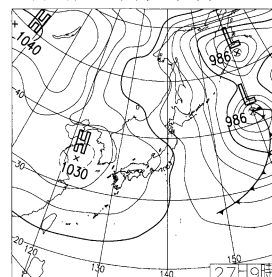
25日(金) 南岸低気圧関東も雪

低気圧が発達しながら本州南岸を東進。「南岸低気圧」により、関東甲信・北陸・東北は雪。水戸市では日降雪量14 cm。日中の気温は、関東から北は平年より約5℃低め。



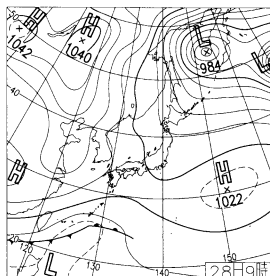
26日(土) H2A 打ち上げ成功

冬型の気圧配置が強まり日本海側は雪。南西諸島は湿った北東風により雨。長野県小谷村で9時までの24時間に55 cmの降雪。MTSAT 搭載のH2A ロケット打ち上げ成功。



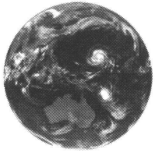
27日(日) 北海道で-33.6℃

日本列島は寒気にすっぽり覆われ、全国的に冷え込む。日平均気温は全国的に平年より3～5℃低め。北海道歌登町では最低気温-33.6℃、今冬の全国最低。



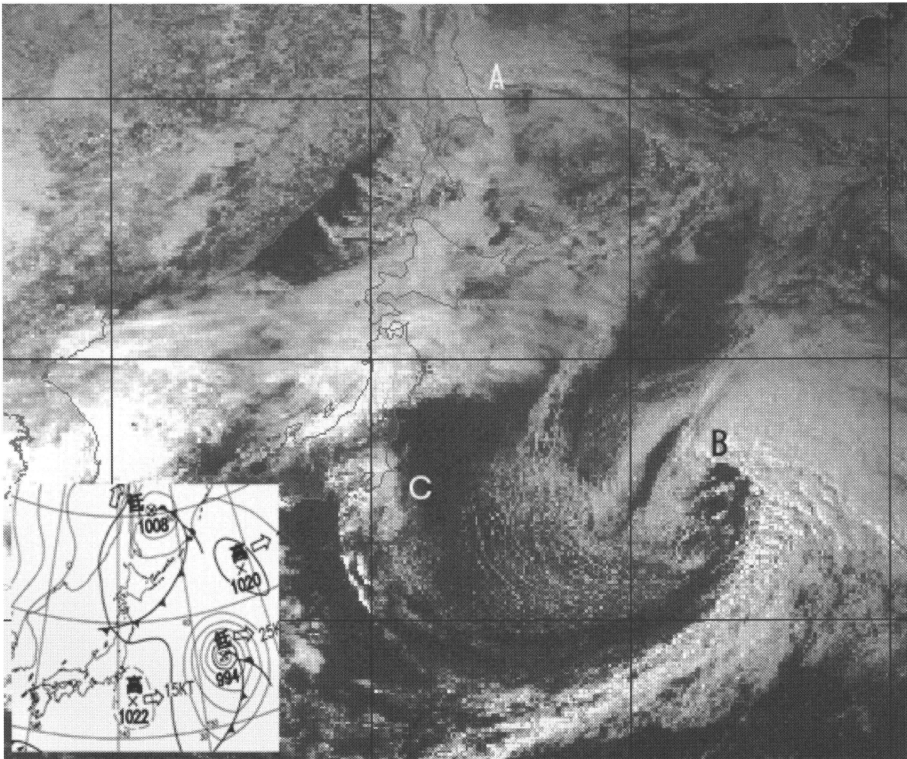
28日(月) 北日本冬型続く

北日本は冬型の気圧配置続く。沖縄の南の前線上に低気圧が発生し、東進。大陸の高気圧は西日本に張り出す。北陸から北は雨や雪。南西諸島は曇りや雨。その他は概ね晴れ。



今月の衛星画像—2005年2月

どこかで春が生まれている（せめぎ合う冬と春）



2005年2月9日15時の可視画像と同時刻の速報天気図

2月は1年中最も寒い月だが、春の兆しがときおり顔を覗かせる。ここに掲載した画像はそんな春の兆しを捉えた1枚である。サハリンの東、画像上Aと表示した地点には上空約5,500 mで -42°C という猛烈な寒気を伴った低気圧があり、日本海北部には寒気の吹き出しに伴う筋状の雲がみえる。Aにある低気圧から寒冷前線が東北地方にのびている。また、日本の東海上にはBと表示した地点に低気圧があり東に進んでいる。一方、関東の南東海上には高気圧があり、暖気

がこの高気圧から東北地方にある寒冷前線に向かって吹き上がっている。この暖気の北上に伴う下層雲の列(C)が伊豆諸島から関東地方に向かってのびているのが見える。寒冷前線の南側にあたる仙台では9日の最高気温が3月中旬ころの最高気温である 8.1°C までであった。この陽気に誘われたのか仙台市の郊外ではネコヤナギが芽吹き始めたと地元紙が伝えていた。

(気象衛星センター)